

平成26年度

清水町議会報告会と町民との意見交換会

報 告 書



平成26年9月

清 水 町 議 会

はじめに

清水町議会では、議会をより身近に感じてもらうための取り組みとして、本年初めて5月27・28日の2日間、清水地区と御影地区の2会場で「議会報告会と町民との意見交換会」を開催いたしました。

初めての試みのため至らぬ点が多々ありましたが、両会場合わせて48人の皆さんにご参加いただき、心から感謝申し上げます。

当日は、議会活動の状況や課題の取り組み状況等を報告するとともに、議会活動や町政に対する意見・提言等をお聞きし、町民の皆さんの議会に対する熱い思いや期待を感じることができ、有意義な意見交換会になったと考えております。

意見交換会で出された質疑、意見・提言等は、今後の議会活動に反映させるとともに、必要なものは執行側へ対応を求めるため、担当する委員会・全員協議会で調査、検討を重ね、取りまとめを行いましたので、その結果を本報告書に掲載しております。

今後も町民皆さんとの交流の場を通して、議会機能を高め、二元代表制としての議会の責任を果たして参りますので、ご意見・ご提言等をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

1 開催状況

地 区	日 時	会 場	参加者	出席議員	出席事務局
清水地区	平成 26 年 5 月 27 日 (火) 19 : 01 ~ 20 : 34	文化センター 2 階会議室	21 人	12 人	3 人
御影地区	平成 26 年 5 月 28 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 45	御影公民館 2 階講義室	27 人	12 人	3 人
計			48 人		

2 質疑、意見・提言等、アンケートの状況

地 区	質疑件数	意見・提言等件数	アンケート回収 ＜意見・要望件数＞
清水地区	8 件	7 件	19 枚＜9 件＞
御影地区	13 件	17 件	16 枚＜6 件＞
計	21 件	24 件	35 枚＜15 件＞

3 質疑、意見・提言等、アンケートの意見・要望の処理方法（類似した内容は一項目として処理）

会場で回答済み とした項目	委員会で調査、検討が必要とした項目			回答でき ない内容	未回答
	議会運営	総務文教	産業厚生		
15 項目 【4 のとおり】	14 項目 【5 (1) のとおり】	5 項目 【5 (2) のとおり】	6 項目 【5 (3) のとおり】	4 項目	5 項目

4 会場で回答済みとした項目

No.	質疑、意見・提言等	回 答
1	議会として問題となった議案、審議が難航したような事柄は何か。	大きなものとして、交流人口拡大支援事業の補助金、旧農業振興公社跡地の譲渡がある。
2	交流人口拡大支援事業補助金、旧農業振興公社跡地譲渡の具体的な問題点と審議経過を説明してほしい。	交流人口拡大支援事業は人件費の割合が大きいこと、事業内容の実効性で賛否が分かれる結果となった。土地譲渡は譲渡額が適正かどうかの問題となった。
3	交流人口拡大支援事業の問題点を端的に説明してほしい。	支出の主が人件費という点、補助金を支出してどれ程の成果があるのかという議論が行われた。

4	国の補助事業受託の経験から、補助金はハードルが高いものと考えている。町は、なぜ成果報告もないようなばらまきのような補助対象を認めるのか。	審査等は十分行っている。担当で審査を行い、結果は精算をする流れになっている。
5	議会だよりは何部作成しているのか。その配布方法は。	議会だよりは 4,100 部作成し、町内会等を通じて配布している。
6	T P P 交渉の状況が変わってきているが、議会はどう対応するのか。	十勝全体、各組織でも協議しており、その状況の変化に応じて対応していく。
7	交流人口拡大支援事業は何が問題だったのか。答弁者が変わるのを、改めて聞かせてほしい。	案の煮詰め方が時期尚早、事業計画に不透明さが残る、この事業には将来大きな支出を伴うことが想定され、提案内容に準備不足があるとの指摘があった。
8	交流人口拡大支援事業の目的は何なのか。どのような議論が行われたのか。	町全体の活性化を図ることが基本にあり、交流人口の拡大を目指すという説明があった。議会では修正案も出され、一致した意見ではない。
9	3月議会の予算討論で、賛成討論といいながら反対する意見を言う議員がいた。交流人口拡大支援事業は議論が十分だったのか。	議会での議論としては、最終的に民主主義の多数決を行わざるを得ない。討論については、全員協議会の中で今後の討論のあり方の申し合わせを行っている。
10	今年度も予算が増加しているが、今後、人口が減少し、基金・交付金も減少していく中で大丈夫なのか。	今の状況では基金も減っていく。担当課でも危機感を持って業務にあたっている。
11	各避難所の設備・物資は十分なのか。	御影公民館にはアルファ米 600 食、毛布 140 枚を保管しており、物資は今後計画的に配備される予定である。
12	災害時において、行政側からの人員の配置についてはどうか。	避難所に 1～2 名を想定している。
13	災害時における要支援者の把握と避難誘導についてはどうか。	要支援者は民生委員の協力を得て把握しており、個別避難計画を作成し、協力者を定めて対応する。
14	防災訓練の実施計画はあるのか。	過去に西十勝消防組合が主催して訓練が行われたが、町が主催しての訓練は実施していない。
15	町議会議員の平均年齢は。	63.8 歳。

5 委員会で調査、検討が必要とした項目

(1) 議会に対するもの（議会運営委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	議会報告会の報告について、羅列された資料の朗読は分かりづらく必要ない。 ・報告の仕方は工夫が必要。	分かりづらかった点は申し訳ない。今後、資料は今回のように議会報告全般の内容とし、説明はポイントを絞って行うこととする。
2	議会を活性化するための具体的方法、議員の活動はどう変わるのか。 ・清水町議会として、目指す姿を話してほしい。	議員個々の資質を高め、清水町まちづくり基本条例に規定されている議会の責務を果たすために活動する。
3	議会報告会は歓迎するが、小集団に対する交流の機会を増やしてほしい。 ・小さな集まりの中に重要な問題があり、そうした意見も聴取できる場を設けてほしい。 ・今後も年に複数回開催してほしい。	開催要領で毎年1回以上開催し、町内の団体などと共催での開催も可能としており、団体等から希望があれば対応していく。
4	議会報告会では、議員個々の意見を言ってもらった方が分かりやすいのではないかと。 ・なぜ議員が一人ひとりの答えを述べられないのか。 ・個々の議員の意見を出しても良いと思う。 ・議員個人の意見、考えを聞きたい。 ・議員個々の意見が出し合える場があればよい。	議会として公務の報告会であり、開催要領のとおり、議会で決定した事項は議員個々の見解を述べることはできず、形成過程の事項等の議員個々の見解を求められた場合は、司会進行が所要時間を考慮の上、発言が特定の議員にかたよらないよう対応する。
5	議員協議会から全員協議会に変わり、一般にも公開することになったが、議論不足の結果が交流人口拡大支援事業の件に表れているのではないかと。	本年4月から全員協議会に名称を変更し、公的な会議となったが、そこで賛否を問うような協議はしていない。今後、全員協議会においても、議案の事前審査にならないように、議員間の自由討議を行っていく。
6	賛否が分かれるような議案等は、本会議前に町民の意見聴取を行うことはできないかと。 ・議会での賛否報告があるが、町民意見の集約を可能とする議案もあると思うが。	議会としての対応は難しく、議員個々の活動で対応する。
7	議員の名前が分からないので、議員紹介をしてほしい。	当日、議員の自己紹介を行ったが、今後は次第事項として、参加議員の自己紹介を行うこととする。

8	議会報告会のあり方について、具体的なイメージを持って提案してもらいたい。 ・議会として報告したいことは何なのか、全然分からなかった。 ・少し問題、課題（テーマ）等を議会側で整理し、町民に意見を求めていく必要があるのではないか。	議会活動の状況等を説明する目的で議会報告会を開催しており、ポイントを絞った説明を行い、説明責任を果たしていく。
9	議会報告会は、なぜ御影と清水の2箇所で開催なのか。	より多くの方に参加していただきたいため、清水地区・御影地区の2会場での開催とした。
10	議員のなり手がいないことは、報酬が少ないことも原因の一つだと思うが、報酬を上げてはどうか。	今任期中、議員定数と議員報酬は検討しない方向で議会改革の取り組みを進めており、改選後の議会に申し送りを行う。
11	賛成・反対が町民に分かるように、できる限り討論をしてほしい。	議員として賛成又は反対の意見を表明するのが討論であり、住民に対して自己の考え方を表明するものでもあるため、できるだけ討論を行うよう取り組んでいく。
12	議会にはチェック機能があり、議員がどのような方法でチェックを行っているのか見えない。	議会としてのチェックは、採決などで明らかにされるが、議案審議や一般質問等により議員としての責任を果たしていく。
13	議会報告会は前もって質問事項、意見をまとめておき、それに応ずるようにしたらどうか。	住民の皆さんから質疑、意見・提言等を聴取し、意見交換を行う目的もあって開催しており、会場での聴取を基本に開催する。
14	住民の参加が少なく、今後、日程調整等を検討した方が良いと思う。	今後も、より多くの方に参加いただける日程を検討する。

（２）町政に対するもの①（総務文教常任委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	<u>予算編成にあたって、予算をつくってから町民に説明するのではなく、町民の意見を聞いて予算をつくるのが本来ではないか。</u> <u>・予算を組む前に議員へ相談をしてほしいと言ったが、それはできないと言われた。</u>	<u>基本的に予算の提案権は町側にある。去年は「町民と町長のまちづくり懇談会」が中止になったが、予算編成に際し、町民の意見聴取を最大限行い、予算に反映させる努力をしてほしい旨、執行側へ伝える。</u>
2	町有財産の売却に関して基準・規程はあるのか。また、公募期間を設けるべきではないか。	町有財産の処分については、議会の議決に付すべき要件はあるが、その他の基準はなく、原則的に公募で行われている。
3	町の中の空間について、景観を無視したような施設を建設したり、50年後の清水町がどうなってしまうのか心配である。	総合計画に基づいて執行されており、議会としても、町民の皆様の意見が反映されるよう、議論と調査研究を行いながら取り組んでいきたい。

4	町職員数について、議会が考える適正人数は几人か。	適正人数は執行側に判断をゆだねるが、議会としても、随時チェックしていきたい。
5	いじめに対して事前に備えをすることが必要で、専門職を充実させるべきではないか。	いじめについては、学校側もしっかり対応されており、今後も重たく捉えて、学校側の取り組みを注目していきたい。

(3) 町政に対するもの②（産業厚生常任委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	町内会会館維持のため、補助金の交付をお願いしたい。	他の町内会等も努力して集会施設を運営しており、収入に見合った運営を行っていただきたい。
2	NPOなどの補助団体に対して、議会は予算化した後のフォローができていない。事業の運営にもっと貢献すべきではないか。また、商業・農業者の後継者問題を鑑み、若い人が集えるまちづくりを願う。	議会としても、しっかり取り組めるように調査、研究していきたい。
3	ペケレベツ川が汚れているが、なんとかならないのか。	水質汚濁防止法の基準を満たしている状況である。
4	本町は悪臭がひどいが、対策はないのか。	所管事務調査で鹿追町のバイオガスプラントを視察しており、悪臭については、議会としても調査、研究していきたい。
5	<u>幼児教育について、本町では集団保育を行っているが、遊びの環境保育を勉強してほしい。</u>	<u>遊びの環境保育は現状でも勉強されており、今後も勉強していく必要がある旨、執行側へ伝える。</u>
6	<u>道路を削った後の雪を老人が除雪するのは大変で、一考願いたい。</u>	<u>除雪での悩みの一つであり、今後も他の自治体の事例等を参考に検討されるよう執行側へ伝える。</u>

6 アンケート集計結果

1. あなたの性別と年齢を教えてください。

性 別 男性：31人、女性：4人

年 齢 20歳代：0人、30歳代：2人、40歳代：5人、50歳代：6人、
60歳代：10人、70歳以上：12人

2. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのように知りましたか。

議会だより：8人、お知らせ版：5人、新聞折込みチラシ：18人、
ホームページ：0人、その他：4人

3. 「議会報告」の内容はどうでしたか。

分かりやすかった：7人、どちらともいえない：12人、分かりにくかった：15人、
無回答：1人

4. 「議会報告」の時間はどうでしたか。

長かった：14人、ちょうどよかった：12人、短かった：5人、無回答：4人

5. 「意見・提言等の聴取」の時間はどうでしたか。

長かった：2人、ちょうどよかった：18人、短かった：9人、無回答：6人

6. 「議会報告会と町民との意見交換会」に参加した感想をお聞かせください。

よかった：12人、どちらともいえない：11人、よくなかった：5人、
わからない5人、無回答：2人

7. 「議会だより」を読んだことはありますか。

よく読んでいる：18人、関心のあるものだけ読んでいる：14人、
読んでいない：2人、無回答：1人

8. 清水町議会のホームページをご覧になったことはありますか。

よく見ている：6人、時々見ている：13人、見たことはない：14人、無回答2人

9. 清水町議会の本会議や委員会を傍聴したことはありますか。

よく傍聴している：2人、時々傍聴している：17人、傍聴したことはない：14人、
無回答：2人

10. 清水町議会の本会議や委員会のインターネット中継・録画をご覧になったことはありますか。

よく見ている：5人、時々見ている：10人、見たことはない：16人、
無回答：4人

